

株式会社横浜アートニクス

2023 年度環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



発行日：2024年6月6日

目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	10
<input type="checkbox"/> 緊急事態対応の試行・訓練	10
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	11

環境経営方針

【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
 - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
 - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境経営レポートを社内外へ公表します。
5. 環境経営方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2022年6月6日

代表取締役 久家 雅英

□組織の概要

更新日：2024年6月5日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 横浜アートニクス
代表取締役 久家 雅英 代表取締役 久家 淳
- (2) 所在地
本 社 福岡市早良区西新五丁目1番30号 アール西新4階
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611
担当者 木實 幸代 TEL:092-846-0611
- (4) 事業内容
電気・電子機器の開発設計
・回路設計 ・FPGA(field-programmable gate array)設計
・実装設計 ・プリント配線設計

- (5) 事業の規模
売上高 228 百万円

	本 社	派遣先企業(※1)	合 計
役員・従業員 名	10 名	19 名	29 名
延べ床面積 m ² (※2)	124.06 m ²	m ²	

※1 19名は社外常駐勤務の為、実質エコアクション対象社員は10名である。

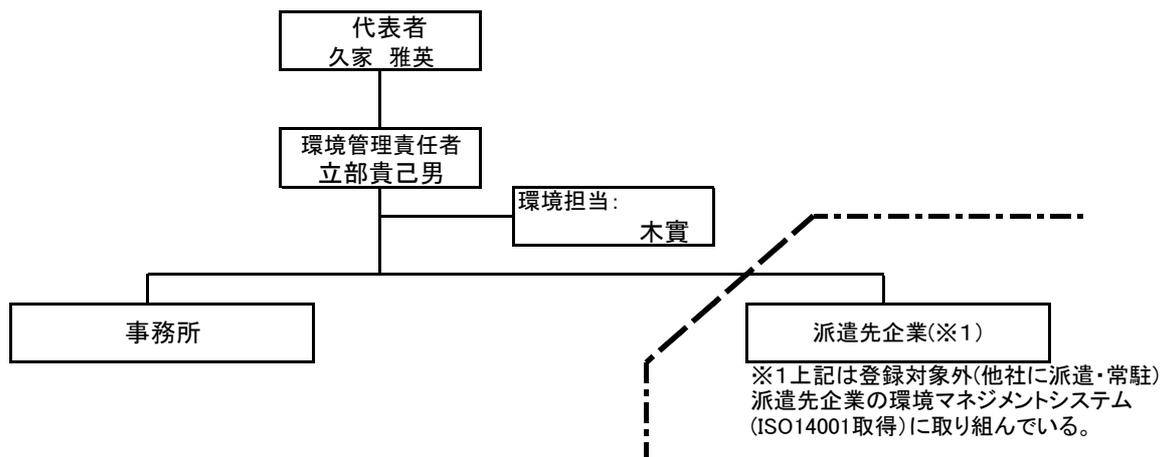
※2 2023年12月15日移転

- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス
対象事業所： 本 社
活動： 電気・電子機器の開発設計

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する最高責任者 環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の推進 環境管理責任者の指示への対応

□主な環境負荷の実績

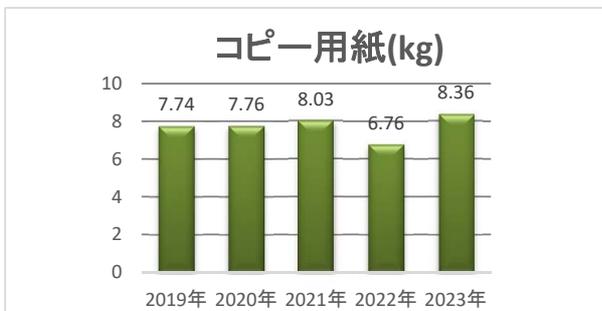
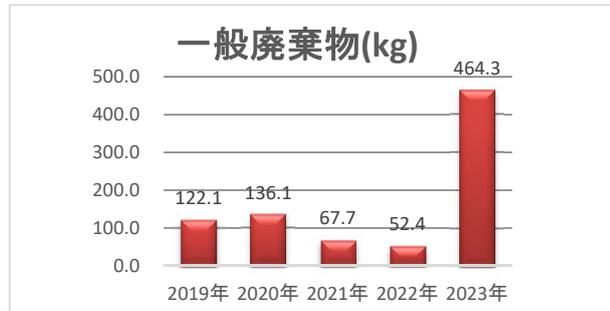
項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	4,512	5,387	4,156	3,683	4,040
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	122.1	136.1	67.7	52.4	464.3
コピー用紙使用量	kg	7.74	7.76	8.03	6.76	8.36

※2019年～2020年二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO₂/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※2021年～2023年二酸化炭素排出係数 0.371 kg-CO₂/kWh (九州電力:2020年度調整後排出係数)

※水使用量:当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質:当社は化学物質の使用がありません。



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年	2025年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,316	4,187	4,040	○	4,143	4,100
	基準年度比	2020年	97%	94%		96%	95%
一般廃棄物の削減	kg	67.7	66.3	464.3	×	65.7	65.0
	基準年度比	2021年	98%	686%		97%	96%
コピー用紙の削減	kg	10.46	7.85	8.36	×	7.85	7.74
	基準年度比	2017年	75%	80%		75%	74%
グリーン購入の推進	事務用品	47	—	49	×	—	—
	グリーン用品	27	—	29		—	—
	対応率(%)	57.4%	60.0%	59.2%		60.0%	60.0%

※算出方法:2019年～2022年までに購入した47品を対象とし、その内グリーン用品27品購入済(対応率57.4%)

※コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m²(3.7422g/枚)にて算出した。

※水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

※製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

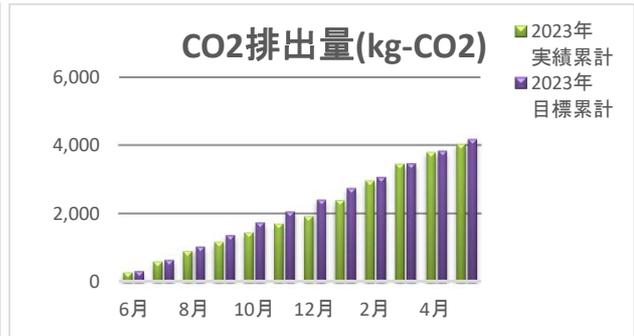
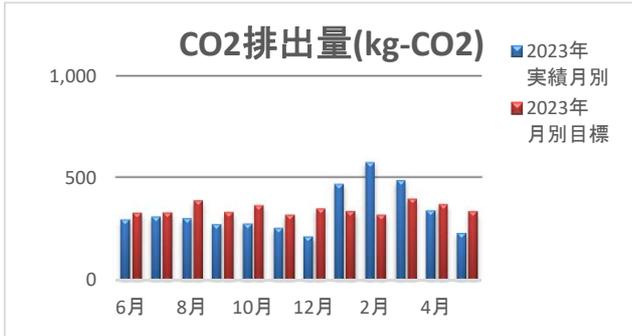
□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



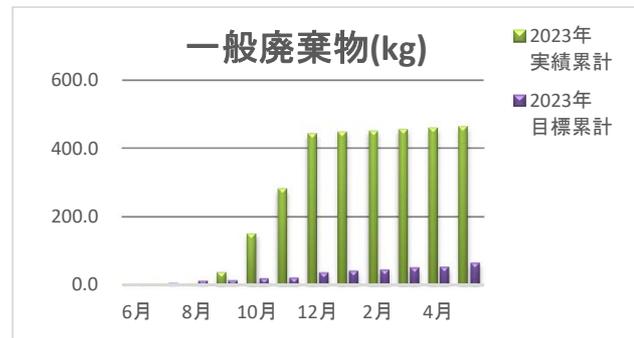
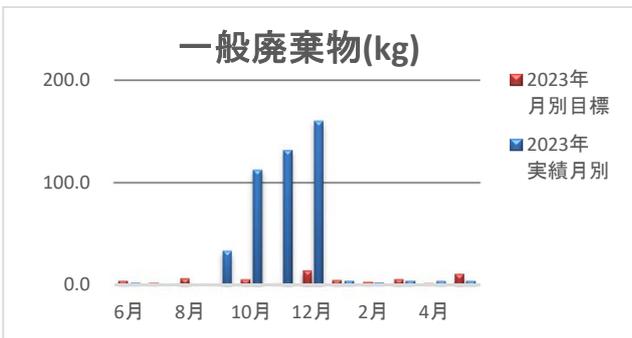
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更あり
・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃)	◎	1年を通して移転前は昨年より更に削減出来ていた事はとても良かった。	継続
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	○	移転後も、出来るだけ使用しない場所は消灯したりしたが、移転前より蛍光灯の数や冷暖房機の違いから使用量は増えた。	継続
・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節	○	次年度は基準値及び目標値を移転後の1月~5月の数値を参考に変更する。	継続
・OA機器の省エネモード設定	○		継続
・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯	○		継続
・電気製品の電源OFFの徹底	○		継続
・未使用設備の節電(消灯等)	◎		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年 月別目標	330	331	390	333	366	320	351	338	320	399	372	337
2023年 目標累計	330	661	1,052	1,385	1,751	2,071	2,421	2,759	3,079	3,478	3,850	4,187
2023年 実績月別	297	311	303	275	277	257	215	469	575	488	341	231
2023年 実績累計	297	608	912	1,186	1,464	1,720	1,936	2,404	2,980	3,467	3,809	4,040



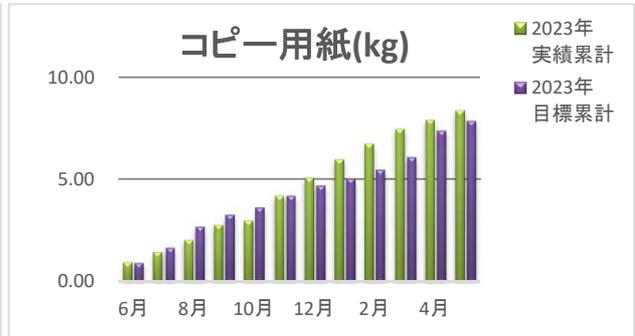
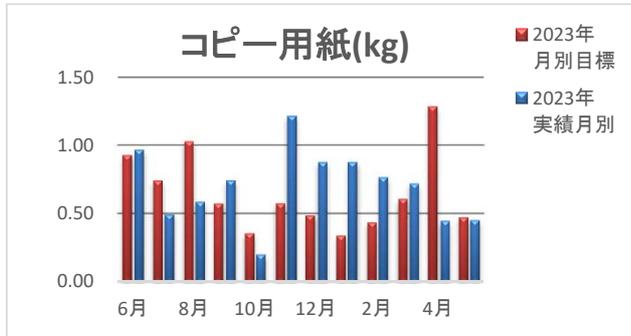
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。	数値目標変更あり
・管理ビルに従った分別方法を徹底する。	◎	移転の為、大量のゴミが出た。特に機密文書リサイクルサービスで利用した8箱分が未達成の原因の一つ。また、2月から事務所内勤務者が増えた為、ゴミの量も少し増えた。ただ、広告等の郵便物は受取拒絶に対応した。	継続
・回収専用ボックスを設置し、用紙表面の有効活用を推進する。	○	次年度は再度目標値を2023年の98%で行い、2024年度の実績をみてその後を検討したいと思う。	継続
・古紙のリサイクル化	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年 月別目標	4.5	2.5	6.9	1.2	5.9	1.9	14.9	5.4	3.4	6.3	2.2	11.3
2023年 目標累計	4.5	7.0	13.9	15.1	21.0	22.8	37.7	43.1	46.5	52.8	55.0	66.3
2023年 実績月別	2.6	1.4	1.3	33.7	112.5	131.8	160.2	4.6	2.9	4.6	4.4	4.3
2023年 実績累計	2.6	4.0	5.3	39.0	151.5	283.3	443.5	448.1	451.0	455.6	460.0	464.3



コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。	数値目標変更なし
・プロジェクター使用による用紙使用量の削減	△	昨年に比べると印刷物が増えているが、提出する書類が多かった為と考えられる。	継続
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	○	次年度の目標数値は再度75%で行い、達成されない場合は再度検討する事とする。	継続
・裏紙再利用	○		継続
・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	◎		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年 月別目標	0.93	0.74	1.03	0.58	0.36	0.58	0.49	0.34	0.44	0.61	1.29	0.47
2023年 目標累計	0.93	1.67	2.70	3.28	3.64	4.21	4.70	5.04	5.48	6.09	7.37	7.85
2023年 実績月別	0.97	0.49	0.59	0.75	0.20	1.22	0.88	0.88	0.77	0.72	0.45	0.45
2023年 実績累計	0.97	1.46	2.05	2.80	3.00	4.21	5.09	5.97	6.74	7.46	7.91	8.36



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	最終的に商品リストが49品目に増えた。その中で2品目はグリーン商品に移行出来たが、1品目はグリーン商品代替無し。これでグリーン商品への移行は残り9品となった。今後もグリーン商品購入に努めたいと思う。	数値目標変更なし
・有害性の少ない資材の購入	○		継続
・事務用品グリーン購入対応率向上	△		継続



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	日常的に節水に取り組んだ。	数値目標は行わない
・事務所内節水ポスター掲示	○		継続
・日常的に節水を心掛ける	○		継続



製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	受託業務開発使用への進言を主に環境に配慮した設計に取り組んだ。	数値目標は行わない
・開発仕様への参画	○		継続
・低消費電力を目的とした装置設計	○		継続
・有害物質を含まない装置設計	○		継続

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2024 年度環境経営目標・計画

方針	目標	活動項目	SDGsとのつながり
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 (2024年1月～5月実績) 13,613 kWh +(2024年1月～5月月平均 × 7カ月) 5,050 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: 0.371 kg-CO2/kWh 2024 年度目標 99% 基準年度比 -1% 削減率 目標値 5,000 kg-CO2 13,476.7 kWh 2025 年度目標 4,949 98% 2026 年度目標 4,899 97%	・空調温度の適正化(冷房26℃～28℃ 暖房22℃～20℃) ・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。 ・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節 ・OA機器の省エネモード設定 ・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯 ・電気製品の電源OFFの徹底 ・未使用設備の節電(消灯等)	7 気候変動 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に具体的な対策を
	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2021 年 67.7 kg 2024 年度目標 98% 基準年度比 -2% 削減率 目標値 66.3 kg 2025 年度目標 65.7 97% 2026 年度目標 65.7 97%	・管理ビルに従った分別方法を徹底する。 ・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。 ・古紙のリサイクル化	11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産
廃棄物排出量削減	コピー用紙の削減 基準年度実績 2017 年 10.46 kg 2024 年度目標 75% 基準年度比 -25% 削減率 目標値 7.85 kg 2025 年度目標 7.74 74% 2026 年度目標 7.74 74%	・プロジェクター使用による用紙使用量の削減 ・分割印刷推進による用紙使用量の削減 ・裏紙再利用 ・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産
	グリーン購入の推進 事務用品のグリーン購入比率向上 2024 年度目標 60.0% 2025 年度目標 60.0% 2026 年度目標 60.0%	・有害性の少ない資材の購入 ・事務用品グリーン購入対応率向上	12 持続可能な消費と生産
製品への環境配慮	※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主なため目標値は設定しない。	・開発仕様への参画 ・低消費電力を目的とした装置設計 ・有害物質を含まない装置設計	3 気候変動に具体的な対策を 12 持続可能な消費と生産
	課題を解決しチャンスを活かす取組	・働き方改革 有休取得促進、長時間労働の解消 テレワークの実施 インターンシップ	3 気候変動に具体的な対策を 8 働きがい、経済成長
水道水の削減	水使用量はビル管理の為、測定及び目標設定が不能な為日常的な節水のみを目標とし、基準値目標値等は設定しない。	・事務所内節水ポスター掲示 ・日常的に節水を心掛ける	6 清潔な水と衛生
	年間活動計画 環境教育 一般教育 緊急事態対応訓練 生物多様性への取組 環境関連法規等の遵守評価 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポート 審査申し込み	・環境方針・目標・活動計画の周知 ・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価 ・火災対応訓練 ・使用済切手や書き損じはがきの収集 ・作成と地域事務局への送付	4 質の高い教育をみんなに 11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸の豊かさを保ち増進

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	資源有効利用促進法に基づき適切に行った。	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	小型家電リサイクル法に基づき適切に行った。	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ・電子レンジ	期間中の廃棄家電なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2023/10月参加)	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

・特になし

□緊急事態対応の試行・訓練

作成日： 2023年10月25日



緊急事態の想定：	福岡市中央区天神付近を震源とした震度6弱程度の地震が発生。 その後、しばらくして当ビル内の各階で出火。6階の火災は、消火活動を行うも鎮火できず、ビル外に避難する。
■実施日： 2023/10/25	■実施場所：当ビル
■参加者： 立部、真田、久家、江口、木實	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
13:55 訓練予告放送	
14:00頃 訓練開始 ・地震発生(緊急地震速報で開始) (警報音:チャイム「緊急地震速報です。強い揺れに注意して下さい」 地震情報⇒館内放送が流れる。 自衛消防本部における被害状況の把握活動。南2階の被害、通行不能。	
14:10頃 負傷者発生。 自衛消防本部隊の応急救護班派遣及び負傷者の応急手当。	
↓	
14:20頃 (館内放送後) 指定された入居企業の初期消火係、通報係による模擬消防活動。 (各係は消火器、火災報知器の位置確認)	
↓	
14:30頃 6階事務所の火災。自衛消防隊の初期消火班の派遣。消火栓ホース展張を含む模擬消火活動。 (館内放送)6階以上の入居企業及び在館者の避難。(避難場所:1階東日立ビルとの間の広場) 6階 初期消火失敗。 (館内報道後)全館避難。(避難場所:1階東日立ビルとの間の広場)	
↓	
14:50頃 場所集合 ※避難場所受付で人数を把握(避難人数を申告) 早良消防署からの総評、自衛消防隊長挨拶	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
今年も指示に従い皆が手順通りに避難出来たと思います。 来年は移転先でこの様な合同での訓練があるか不明ですので、無ければ独自の訓練を検討する必要があると思います。	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月5日

【評価】

今年度は12月中旬に移転があり、一般廃棄物が大量に出してしまった事は仕方ない。次年度は事務所内勤務者も増える為、一般廃棄物が増加する可能性があるが、その場合はその都度適切な運用目標を検討する様指示する。又、コピー用紙についても、今年度は未達成だったが特に不要な印刷等はなかったとの事なので、次年度はこのまま目標に取り組んで貰いたい。

二酸化炭素排出量に関しては、目標達成出来た事は良かった。但し次年度に関しては移転後の電気使用量2024年1月～5月を参考に目標値を設定し対応する様指示する。

次年度は移転後の指標となるので、全社員新たな気持ちでSDGsを意識しながら環境へ配慮した活動を継続して欲しい。

生物多様性保全への取り組みについては継続して使用済切手の収集を引き続き取り組んでいく。

今後の課題：福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度等のカーボンオフセット制度の購入検討

【見直し】

二酸化炭素排出量は基準値=(2024年1月～5月の実績)+(2024年1月～5月の平均値)×7カ月とし環境数値目標を変更する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり (実績を踏まえて見直す)
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取り組みを身近なところからおこなってまいります。その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポレクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山(東アフリカ・タンザニア)での植林活動を支援していきたいと思っております。また、特定非営利活動法人難民支援協会への寄付を行っています。



(2023年度収集分)